

一般 電池工業会  
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号  
機械振興会館内  
電話 (03) 3434-0261 (代)  
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>  
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>  
発行人 清水義正

2023年1月号

## 年頭挨拶会を開催

一般社団法人電池工業会は2023年1月10日(火)、機会振興会館を拠点にWebで「2023年度年頭挨拶会」を開催した。その後、同会場で「2022年度優良従業員表彰」を実施した。なお、新年賀詞交換会は昨年に引き続き中止とした。

### 一般社団法人工業会 村尾修会長挨拶

あけましておめでとうございます。

今年は初詣などにも人出が戻り、会員の皆さまにおかれましては、久しぶりに穏やかさの中にも少し賑やかさのあるお正月を迎えられたのではないのでしょうか。僭越ではありますが、2023年の新春を迎えるにあたり、わたくしより一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より電池業界のご理解と発展に、ご厚情をいただいております関係各位に対しまして、心より御礼申し上げます。

昨年、2022年も新型コロナウイルス感染症が拡大と収束を繰り返しましたが、グローバルな視点ではウィズコロナの中、経済活動再開に重心が移り、海外からの観光客も以前ほどではありませんが各地に戻り始めました。しかし一方では、ロシアによるウクライナ侵攻やサプライチェーンの混乱、各国でのインフレ進行、そして急激な円安など、我が国を取り巻く経済環境は厳しさを増すばかりでした。会員の皆さまにおかれましてもこれまでになくご心配の連続ではなかったかと思えます。



電池関連の事業環境を見てみますと、カーボンニュートラルに向けた、再生可能エネルギーの利用拡大、世界的な自動車の電動化などの高まりがあり、電池業界も大きな影響を受け始めています。

皆様ご承知おきの通り、令和3年度補正予算では、蓄電池の国内生産基盤／確保のため、1,000億円の予算化がなされて居ますが、今年度は12月の国会審議により、令和4年度第2次補正予算として、「グリーン社会に不可欠な蓄電池の製造サプライチェーン強靱化支援事業」等、5,100億円規模の予算化を決定頂きました。

これらの我々電池産業界への予算化につきましては、経済産業省 電池産業室 武尾室長様からの多大なご

支援によるものと考えております。改めて深く感謝申し上げます。

我々電池メーカーとしては、これらのご支援に対し、しっかりと応えて行く形となりますが、まずは現在の電池工業会の活動について、簡単に述べさせていただきます。

昨年度から蓄電池産業/戦略検討/官民協議会が開かれ、電池工業会からは、第1回では、『蓄電池の普及促進に関する課題提起』を行い、第5回では『定置用蓄電池 強化に向けた電池工業会の取組』の説明を実施し致しました。

今後は、定置用 LIB について専任 WG を立ち上げ、電池産業室様を初め、資源エネルギー庁、JEMA、NITE 等の関係団体との連携強化をし 普及促進を推進して参ります。

政府には、産業界の厳しい現実を考慮した適切な政策を策定、実行に移してくれるものと期待するところであります。世界における日本の地盤沈下が認識され始めて久しく、このままでは将来世代は貧困という厳しい現実の中に沈んでしまう危険性があります。日本が今後も世界中

での存在感の維持できるように今の私たちが努力する必要があります。引き続き皆さんと切磋琢磨しながら一緒に、サステナブルな社会、カーボンニュートラルな未来を構築して参りたいと考えています。

2023 年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。「卯（うさぎ）」は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして知られています。その意味から転じて癸卯（みずのと・う）には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表していると言われております。長い間、新型コロナウイルス感染拡大の影響で皆さんの生活や社会活動に制限がかかっていました。しかし、だんだんと感染状況も好転し、色々な事象で回復傾向が見え始めています。このように 2023 年はこれまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活や経済活動が大きく「向上」する年にしていきたいと考えています。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 電池産業室 武尾伸隆室長挨拶



あけましておめでとうございます。

電池工業会および、会員企業の皆様におかれましては、平素より経済産業省の行政運用にご協力いただきまして、あらためて御礼申し上げます。

近年、ロシアのウクライナ進行、米中の対立、あるいはコロナの情勢等国内外の情勢が目まぐるしく動いていますが、カーボンニュートラルへの対応とその観点でのバッテリーの重要性が間違いなく高まっています。そうしたなか、一昨年（2021年）の11月から、電池工業会およびいくつかの会員企業にもご参加頂いて官民協議会を立ち上げ、計6回議論を重ね、

昨年8月末に電池産業戦略を取りまとめたところですが、国内の基盤を確立するという一方で、2030年までに150GWh/年の製造能力確保、海外戦略を戦略的に展開し、グローバル市場において600GWh/年の製造能力確保を数値目標として掲げました。下落傾向の日本のシェアをもう一回反転攻勢をかける、という事を意図しております。

こうした目標を達成するために、7つの方向性をアクションとして示しています。国内基盤拡充のための政策パッケージ、グローバルアライアンスとグローバルスタンダードの戦略的形成、上流資源の確保、次世代技術の開発、国内市場の創出、人材育成・確保の強化、国内の環境整備強化これらを一体的に行うことによって、日本の産業の競争力を高めるという事であります。

蓄電池に関する関連予算として、ポイントを絞っての説明となりますが、一番予算額として大きいのが、国内製造サプライチェーンの強靱化という事で、これは、蓄電池・部素材の設備投資及び技術開発に対する支援のため3,316億円、二番目が上流資源の確保ということで、令和4年度補正予算のなかでは、鉱物資源の安定供給確保事業に1,058億円、鉱物資源安定供給確保のため

の鉱山開発や精錬等を行う民間企業の支援ということで1,100億円の予算措置をしています。三番目が技術開発の支援という事で、令和5年度当初予算として、政府案の中に入れていますが、次世代全固体蓄電池の評価・基盤技術の開発事業に18億円、電気自動車用革新型蓄電池技術開発に24億円の予算を織り込んでいます。

人材育成の確保・育成ということで、予算額的には大きくはありませんが、17億円も織り込んでいます。国内市場の創出ということで、補正予算で2つ、当初予算で3つございますが、基本的には、資源エネルギー庁が実施する予算になりますが、例えば太陽光発電を入れる際に、蓄電池も合わせて併設するといった取り組みで支援する事業に255億円、再生可能エネルギー導入拡大に資する分散型エネルギーリソース導入支援事業に250億円織り込んでいます。車載用蓄電池関連では、クリーンエネルギー自動

車導入促進補助金として、補正予算で700億円、当初予算で300億円織り込んでいます。予算活用をすでに検討いただいている企業もありますが、是非、予算の積極的活用をご検討いただきたいと思います。このように、予算額が大幅に増えたという事は、政府の中での蓄電池産業に対する期待への高まりという事だと思っております。一方で、政府として継続的に支援を行っていくには、予算を最大限に活用して頂いて、成果に結び付けていただく事が、需要だと思っております。

関係企業の皆様におかれましては、それぞれの企業がグローバル競争力をより強化するために、従来より一歩でも二歩でもより前に踏み込んで将来に向けた投資、海外展開、人材育成などを是非積極的に行って頂ければ幸いです。最期になりますが、電池工業会および会員企業の皆様の、さらなる発展と飛躍を祈願致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 優良従業員表彰

年頭挨拶会に続いて、2022年度優良従業員の表彰式が行われ、村尾会長より各受賞者に賞状と記念品が授与された。

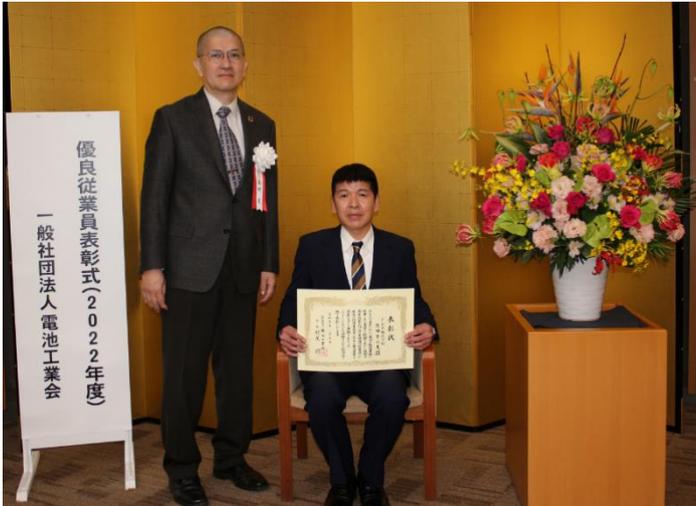
### 受賞者（順不同、敬称略）

ト部 光弘	（エナジーウィズ株式会社）	川上 裕介	（エナックス株式会社）
高橋 秀樹	（FDK株式会社）	原田 不二夫	（FDK株式会社）
佐藤 尋史	（エリーパワー株式会社）	作田 雅英	（株式会社エンビジョン AESC ジャパン）
久山 博史	（株式会社 GS ユアサ）	牧野 和弘	（株式会社 GS ユアサエナジー）
矢嶋 博	（セイコーインスツル株式会社）	石原 直美	（株式会社 東芝）
中澤 麻名美	（東芝ライフスタイル株式会社）	河合 啓輔	（パナソニックエナジー株式会社）
藤本 智也	（パナソニックエナジー株式会社）	菊池 高浩	（古河電池株式会社）
太田 浩司	（マクセル株式会社）	杉田 正史	（株式会社三菱電機ライフネットワーク）
重富 潤一	（株式会社東北村田製作所）	安田 利勝	（株式会社東北村田製作所）

表彰式後、長野副会長から閉会の挨拶を行い、その後同会場で記念撮影を行った。

新年挨拶会、優良従業員表彰には、会場44名、オンライン参加79名、合計123名のご参加をいただいた。

優良従業員表彰式に出席できなかった、川上 裕介様（エナックス株式会社）矢嶋 博様（セイコーインスツル株式会社）には個社にて表彰を行っていただきました。







# 2022年12月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議 他	7日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	茨城県会場の修了考査審議
	9日(金)	広報総合委員会	来年度PR案について、でんちフェスタ開催準備 他
	15日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、来年度事業計画関連、他
	20日(火)	新種電池研究会	NITE/NLABへ見学
	21日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	神奈川県・高知県会場の修了考査審議
二次電池部会	2日(金)	自動車鉛分科会	IEC 60095-8関連(補機用鉛蓄電池の試験方法に関する審議)
	5日(月)	据置アルカリ分科会	規格情報共有化
	12日(月)	自動車技術サービス分科会	TS-004改定審議
	15日(木)	小形鉛分科会	SBA規格S0406(AGMセパレータ)改正審議
	16日(金)	用語分科会	SBA規格票の作成指針 改正審議 他
	19日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定申請状況確認、新規申請方法審議他
	19日(月)	据置鉛分科会	JIS F 8101(船用鉛蓄電池)改正に向けた調査活動
	23日(金)	電気車鉛分科会	SBA S 1221電気自動車用制御弁式鉛蓄電池改正審議
二次電池第2部会	5日(月)	JIS C 8715-2改正原案作成委員会	対応国際規格(IEC 62619 Edition2.0 2022)への整合対応
	8日(木)	PSE WG	技術基準解釈改正(別表第九廃止)への対応についての審議
	8日(木)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2改正原案作成分科会、IEC/ISO情報共有
	12日(月)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	13日(火)	リユース規格分科会-リユース・リサイクルTF 合同会議	リユース規格に関する審議
	14日(水)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定
	14日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池システムの普及強化に向けた戦略実現検討
	15日(木)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	15日(木)	リチウム二次分科会	JIS C 62133-2 誤記訂正対応
	16日(金)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格等の審議対応
	20日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	20日(火)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	21日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進に関する提言検討
	21日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池システムの普及強化に向けた戦略実現検討
	22日(木)	ニカドニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
23日(金)	PSE WG	経産省との打合せ結果の検討、電気協会からの要請回答	
26日(月)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討	
一次電池部会	1日(木)	規格委員会	IEC60086-5,MT17,62281,JIS C 8514審議。
			BAJ HP 使用推奨期限の記載修正審議。
	2日(金)	技術委員会	国際幹事、JIS改正、IEC関連、コイン形リチウム二次分科会関連報告。
14日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告および審議	

# 10月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	371,911	118,382	83%	125%	3,705,626	988,914	96%	113%
一次電池計	211,487	8,459	84%	64%	2,347,726	87,308	99%	105%
酸化銀電池	72,965	1,737	124%	129%	640,269	14,355	111%	127%
アルカリ乾電池計	89,204	3,576	84%	65%	1,015,952	39,954	98%	101%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	49,318	3,146	55%	41%	691,505	32,999	92%	102%
二次電池計	160,424	109,923	81%	131%	1,357,900	901,606	92%	113%
鉛電池計	2,476	17,270	107%	96%	23,258	156,838	97%	105%
自動車用	1,872	11,323	111%	93%	17,655	102,875	98%	108%
その他の鉛蓄電池	604	5,947	96%	101%	5,603	53,963	94%	100%
アルカリ蓄電池計	30,070	22,430	72%	116%	364,346	210,242	87%	114%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	127,878	70,223	83%	149%	970,296	534,526	94%	116%
車載用	108,291	60,581	94%	175%	720,279	422,261	100%	123%
その他	19,587	9,642	53%	76%	250,017	112,265	79%	95%

# 10月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2022年10月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
<b>全電池合計（輸出）</b>	205,997	68,265	78%	109%	2,133,043	606,073	95%	114%
<b>一次電池計</b>	98,417	3,472	91%	104%	1,102,579	32,510	100%	98%
マンガン	8	1	-	-	2,092	49	-	-
アルカリ	11,836	249	87%	121%	137,951	2,540	94%	117%
酸化銀	54,386	1,365	120%	168%	496,669	10,385	108%	133%
リチウム	32,186	1,821	66%	97%	465,864	17,831	95%	101%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	0	0%	0%
その他の一次	0	36	90%	8%	2	1,705	50%	31%
<b>二次電池計</b>	107,580	64,793	70%	109%	1,030,465	573,563	91%	115%
鉛蓄電池	152	1,235	107%	116%	1,445	11,095	93%	103%
ニカド	99	59	21%	74%	2,874	770	57%	74%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	4,331	10,768	34%	111%	106,400	105,894	73%	119%
リチウムイオン	94,826	38,091	75%	99%	819,821	330,307	95%	109%
その他の二次	8,171	14,641	58%	145%	99,925	125,497	86%	130%
<b>全電池合計（輸入）</b>	174,384	41,835	147%	170%	1,411,438	345,223	115%	157%
<b>一次電池計</b>	165,055	3,024	150%	169%	1,325,919	23,479	115%	132%
マンガン	7,500	125	65%	90%	88,738	1,278	76%	104%
アルカリボタン	3,081	32	153%	225%	27,084	257	146%	188%
アルカリその他	138,822	2,194	162%	187%	1,048,397	14,746	122%	137%
酸化銀	48	2	57%	95%	1,917	74	113%	119%
リチウム	11,999	571	159%	151%	116,491	5,856	110%	129%
空気亜鉛	3,599	92	98%	135%	43,245	979	88%	112%
その他の一次	6	9	102%	88%	48	289	109%	167%
<b>二次電池計</b>	9,329	38,811	113%	170%	85,519	321,744	107%	160%
鉛蓄電池	844	4,772	108%	115%	7,817	42,578	102%	113%
ニカド	90	176	1025%	140%	633	1,692	110%	92%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	0%	0%
ニッケル水素	2,444	581	104%	123%	21,791	5,055	104%	123%
リチウムイオン	5,892	30,442	116%	179%	54,840	247,780	110%	170%
その他の二次	59	2,840	172%	255%	438	24,641	99%	204%